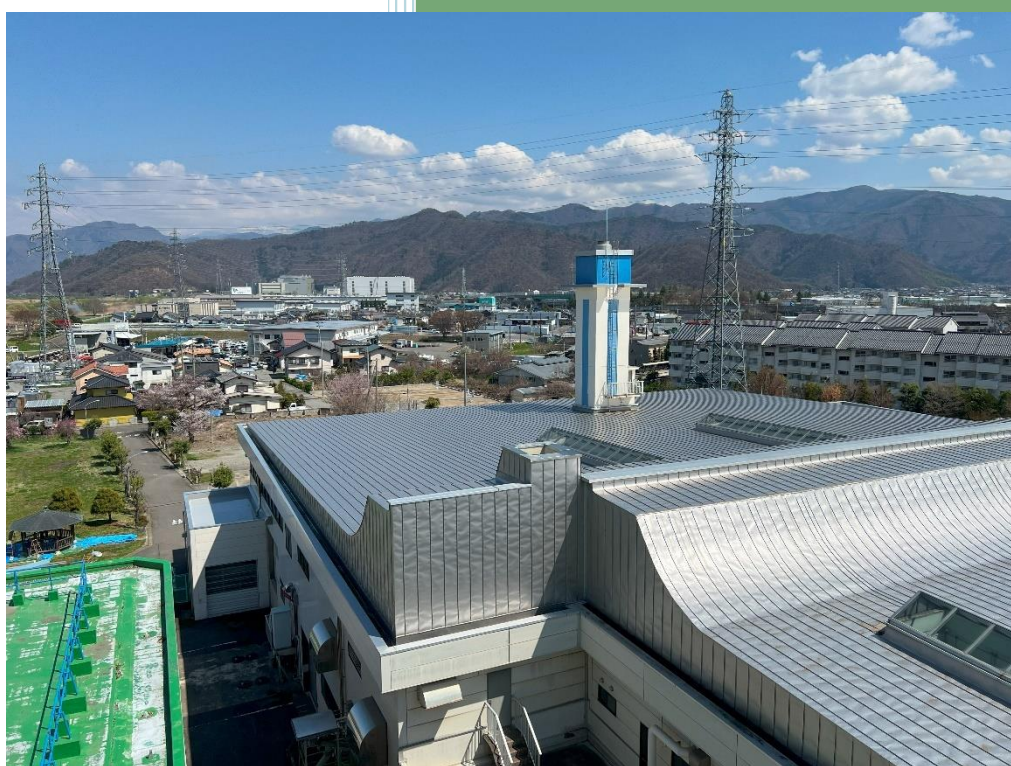


2024

# 環境経営レポート



千曲衛生センター屋上から撮影

千曲衛生施設組合

第19期 活動期間

2023年4月1日～

2024年3月31日

2024/04/18

# I はじめに

この組合は、長野市・千曲市・坂城町から発生したし尿等の汚泥を処理する施設「千曲衛生センター」を管理運営しています。

汚泥は、高度な処理を経て、最終的には真水と汚泥発酵肥料となり、それぞれ千曲川と地域農地に還元しています。

組合では、平成 19 年(2007 年)3月にエコアクション21の認証を受け、取り組み 17 年、期数で 19 期を重ね、引き続き環境経営方針を基に取り組みを継続しています。

施設は、昭和 37 年(1962 年)から稼働し、平成 10 年度に最大受入量(年間 138,684kℓ)を記録しましたが、その後は下水道の普及に伴い減少を続け、令和5年度は年間 20,731kℓでピークの 6 分の 1 以下まで落ち込んでいます。施設規模に対して、受入量減少に伴う低負荷の影響からさらなる効率の悪化をできるだけ抑えることが課題となっています。

## 目次

I	はじめに	1
	目次	
II	環境経営方針	2
III	千曲衛生施設組合の概要	3
	施設の概要	
	処理の工程	
IV	実施体制	5
V	環境経営目標及びその実績	6
	CO <sub>2</sub> 排出量の比較	
VI	環境経営活動の取組み計画と結果の評価	9
	受け入れたし尿等の処理量	
	環境負荷の全体像の把握【マテリアルバランス】	
VII	環境関連法規制等の遵守状況	15
VIII	環境保全活動	16
	災害対策訓練の実施	
	堆肥化によるリサイクルの推進	
	管理市である千曲市役所と環境活動における交流	
	環境整備と周辺の自然環境の保全	
IX	代表者による全体の評価と見直し	19

## II 環境経営方針

### 1. 基本理念

千曲衛生センターに寄り添うように流れる千曲川は、古代より当地に肥沃な大地をもたらし続けてきました。私たちはこのかけがえのない郷土の自然に対して常に謙虚な態度で共生をはかり、積極的に環境保全に取り組んでいかなければなりません。

千曲衛生施設組合は、し尿処理および堆肥化業務を行う中で、良好な環境を維持するため適切な施設の管理運営に努めてきましたが、今後もこれまで以上に地域の環境や地球環境問題と深く関わっていることを認識し、事業活動を通じて持続可能な社会の構築に貢献します。

### 2. 行動指針

基本理念に基づき、下記の具体的な行動指針を定め、全職員で継続的に取り組むこととします。

- (1) し尿処理業務において、良好な放流水の確保、悪臭防止と化学物質の適正管理を行い、安全作業に常に心がけ、公害防止に努めます。
- (2) 汚泥や剪定枝チップの堆肥化によるリサイクルを推進し、地域へのアピールと農地還元を図ります。
- (3) 施設内のエネルギー（電力、燃料等）の使用を効率的に行い、二酸化炭素排出量の削減を図ります。
- (4) 施設内において、3R（廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化）やグリーン購入を推進するとともに、水資源の使用抑制を図り環境負荷を減らします。
- (5) 環境関連の法令等を順守し、環境汚染防止に努めます。

千曲衛生施設組合長 小川 修 一

平成18年 6月26日 制定  
令和 3年 4月26日 改定



千曲衛生センター屋上から撮影



### III 千曲衛生施設組合の概要

(1) 名称及び管理者名

千曲衛生施設組合  
組合長 小川 修一 (千曲市長)

(2) 組合設立年月日

昭和 35 年(1960 年) 4 月 5 日

(3) 所在地

長野県千曲市大字屋代 3119

(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 所長 塚田 勝雄  
事務責任者 課長補佐 小岩 一貴  
Tel 026-272-0534 Fax 026-273-2838 E-Mail chikumaeisei@cd.wakwak.com

(5) 事業内容 (認証・登録の範囲)

し尿及び浄化槽汚泥の処理、汚泥と剪定枝チップによる堆肥化

し尿処理施設「千曲衛生センター」は、以下の主な工程設備により構成され、し尿及び浄化槽汚泥を、安全に処理し環境に還元する施設です。

- 受入し尿、浄化槽汚泥のうち砂、ゴミなどを除去する前処理工程設備
- 微生物により生物学的処理を行う水処理工程設備
- 生物槽に沈殿した汚泥を機械的に水分除去する脱水工程設備
- 水処理工程からの上澄み水をさらにオゾン脱色、砂ろ過器を経て塩素滅菌を行う高度処理工程設備
- 施設内から発生する臭気を集めて消臭する脱臭設備
- 脱水設備からの汚泥を乾燥する乾燥設備
- し尿処理施設からの汚泥を剪定枝チップと混合し発酵させ肥料を生産する堆肥化設備

(6) 事業規模 (令和 5 年度)

処 理 量 し尿等汚泥受入量 20,731.2kL/年  
肥料搬出量 121.3t  
職 員 数 9 名  
施設延べ床面積 13,962.17m<sup>2</sup>

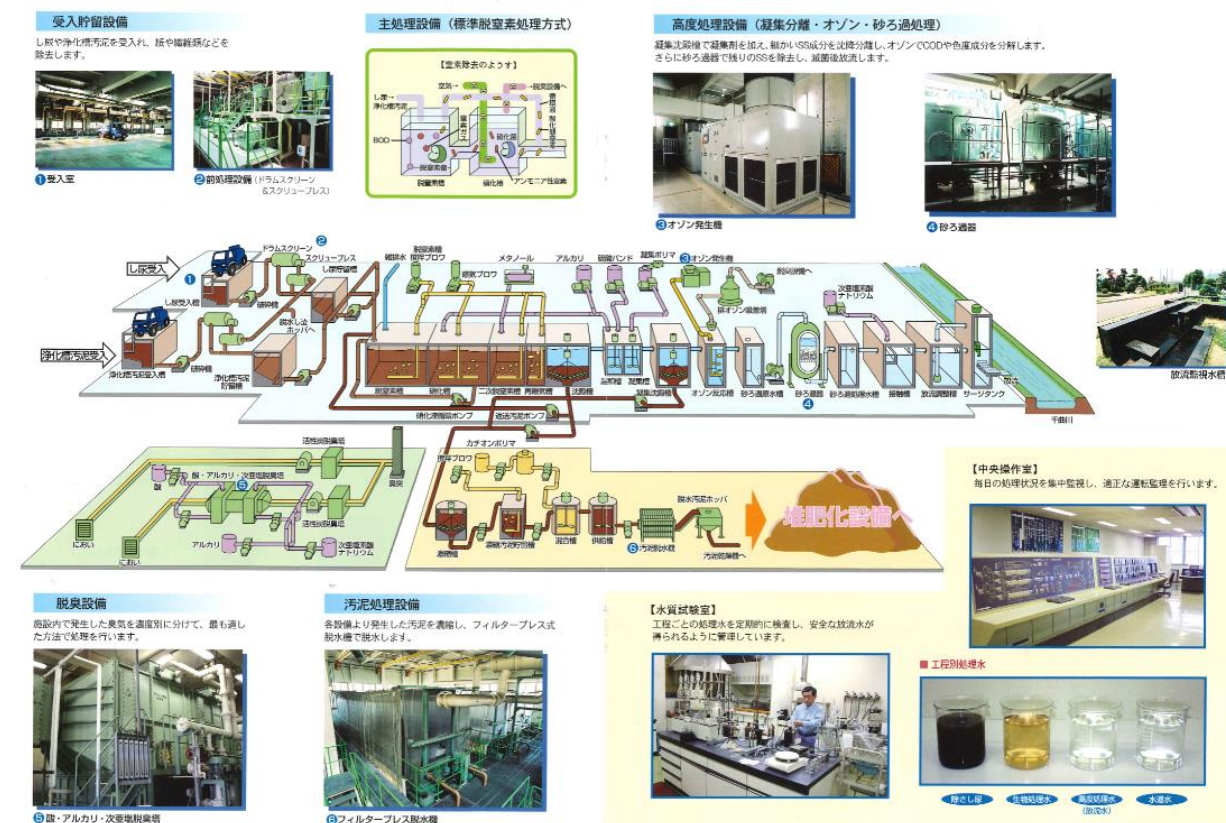


※出荷している肥料は地域の特産である杏などの果樹園でも使用されている

(7) 施設の概要

【し尿処理施設】		【堆肥化設備】	
処理方式	標準脱窒素処理方式+高度処理	堆肥原料	し尿処理施設から発生した汚泥 剪定枝チップ
処理能力	310kL/日	処理方式	強制通気堅型一次発酵槽 4基 強制通気堅型二次発酵槽 6基
処理水質	pH …… 5.8~8.6	処理能力	脱水汚泥 895t/年 乾燥汚泥 305t/年 剪定枝チップ 200t/年
	BOD …… 10mg/l以下	製品	汚泥発酵肥料「千曲3号」
	COD …… 30mg/l以下		
	SS …… 10mg/l以下		
	T-N …… 10mg/l以下		
	T-P …… 1mg/l以下		
	色度 …… 30度以下		
	大腸菌群数 …… 1000個/cm <sup>3</sup> 以下		
	(放流水質自主基準値)		

(8) 処理の工程



※千曲衛生センター紹介パンフレットより

## IV 実施体制 令和5年度(2023年度)

(役割と権限)

組合長：小川 修一

### エコアクション21の最高責任者

- 必要な責任者を任命する
- エコアクション21の構築・運用・維持に必要な資源人材・資金・技術などを準備
- 基本方針を制定し、基本的な環境目標を設定する。
- システム全体の見直しを行い、必要に応じ改定を指示する

環境管理責任者：  
千曲衛生センター  
所 長

### エコアクション21の管理責任者

- エコアクション21の合理的で効果的な運用を図る。
- 問題の是正処置、予防処置に関する判断を行い、必要な対策を講じる。
- 事務局と共に、目標に対する定期的な評価を行う。

事務責任者：  
業務課長補佐  
サブ責任者：  
庶務課長補佐  
庶務主任

### エコアクション21の事務局

- 各取組の総合的なとりまとめ及び目標に対する定期的な評価を行う。
- 各月の取組状況の把握及びデータ管理を行い、適切な運用に努める。

コミュニケーション窓口：(庶務)主任

- 外部からの苦情要望等を受け付け、記録する。

業務課：管理係長  
○ 技術管理者

- 水資源の使用量削減
- 化学物質の適正管理と緊急時対応訓練
- 設備作業に係る資格取得状況の整理と計画
- 公害防止のための自主点検、定期点検の継続

業務課：業務係長  
○ 管理係主任  
管理係主査

- 電力、燃料等の使用量削減（二酸化炭素排出量の削減）

業務課：業務係長  
○ 業務係主査  
業務係主査

- 堆肥化業務によるリサイクル推進

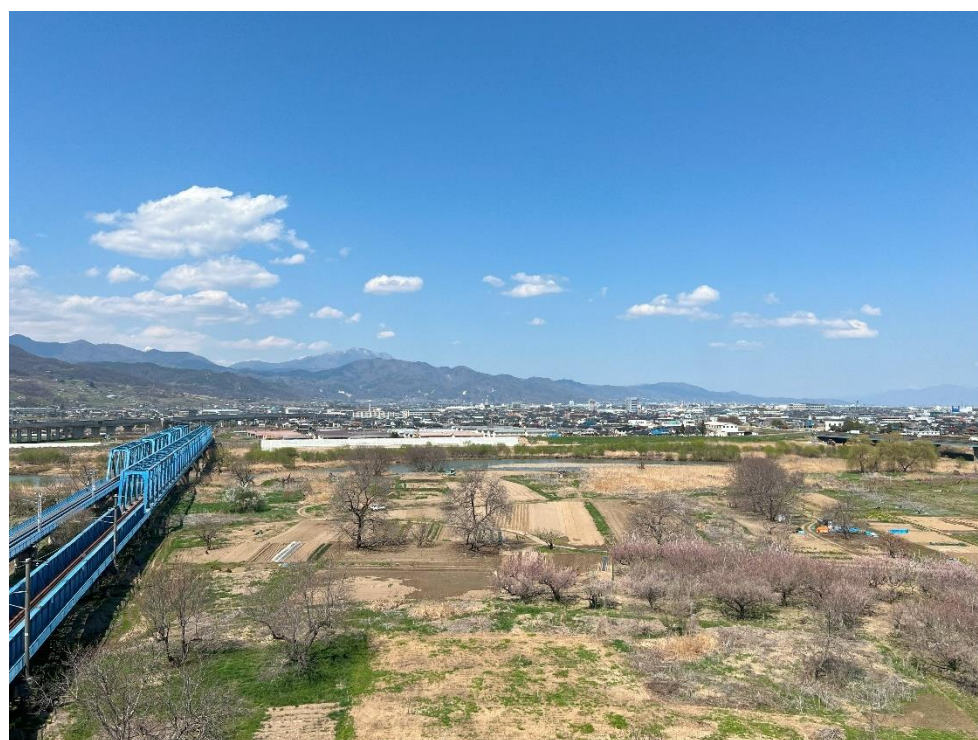
庶務課：庶務係長  
○ 庶務係主査

- ガソリン、軽油の使用量削減
- 廃棄物排出量の削減
- コピー用紙の再利用
- 回覧文書の電子化

## V 環境経営目標及びその実績

項目	短期目標*19 期目 令和5年度(2023年度) (4月~3月)	平成17年度 (2005年度) (4月~3月)	令和5年度 (2023年度) (4月~3月)	中期目標*21 期目 令和7年度(2025年度) (4月~3月)
		(基準年度)	(実績)	
二酸化炭素 排出量の削減	ガソリンによる排出量を 2005年度比25%削減する	使用量 1,000L	使用量 762.9L	ガソリンによる排出量を 2005年度(H17年度)比30%削減する
	軽油による排出量を 2005年度比50%削減する	使用量 1,561.5L	使用量 289.4L	軽油による排出量を 2005年度(H17年度)比55%削減する
	電気による排出量を2005年 度(H17年度)比65%削減する 一日当たりの使用量を 6,000kwh以内とする 月単位で最大ピーク電力を契約 電力以下に抑制する	使用量 5,076,792kWh	使用量 1,679,796kWh	電気による排出量を 2005年度(H17年度)比65%削減する 1日当たりの使用量を5,800kWh以内 とする 月単位で最大ピーク電力を契約電力以 下に抑制する
	A重油の使用量を単位処理量 当たり2.2Lに抑制しCO <sub>2</sub> 排出 量を削減する	使用量 253,400L	使用量 48,300L 単位処理量当り 2.33L/kL	A重油の使用量を単位処理量当たり 2.2Lに抑制しCO <sub>2</sub> 排出量を削減する
廃棄物排出量の 削減 (3Rの推進)	ごみ分別の継続	未実施	計測分別実施	廃棄物の分別及び計量の継続
	コピー用紙の使用量を 2005年度(H17年度)比25%削 減する	購入量 80,500枚	購入量 35,000枚	コピー用紙の使用量を 2005年度(H17年度)比25%削減する
	グリーン購入を積極的に行う	未実施	購入品目分野においての対象 商品をリスト化	グリーン購入を積極的に行う
化学物質使用量 の削減	硫酸バンド使用量を 2009年度(H21年度)比50%削 減する	2009年度 (H21年度)使用量 321,440kg	73,150kg	硫酸バンド使用量を 2009年度(平成21年度)比50%削減す る
	メタノール使用量を 2009年度(H21年度)比50%削 減する	2009年度 (H21年度)使用量 51,510kg	30,680kg	メタノール使用量を 2009年度比50%削減する
節 水	節水に努める	県営水道使用量 1,259m <sup>3</sup> 取水量(工場分) 406,460m <sup>3</sup>	県営水道使用量 889m <sup>3</sup> 取水量(工場分) 155,620m <sup>3</sup>	節水に努める
公害防止 ・環境関連法規 の遵守、 災害対策訓練	公害防止等に関する項目を整 理し、年に一度は緊急時の訓 練を行う 公害防止等の為の自主点検、 定期点検を継続する	年1回 訓練実施  実 施	9月1日 訓練実施  継続実施	公害防止等に関する項目を整理し、年 に一度は緊急時の訓練を行う 公害防止等の為の自主点検、定期点検 を継続する
堆肥化による リサイクル推進	環境に配慮した堆肥として アピールをしていく	試供品の作成等	PR用パンフレット印刷及 びJA窓口に配布 121,250kg 出荷	環境に配慮した堆肥として アピールをしていく





千曲衛生センター屋上から撮影

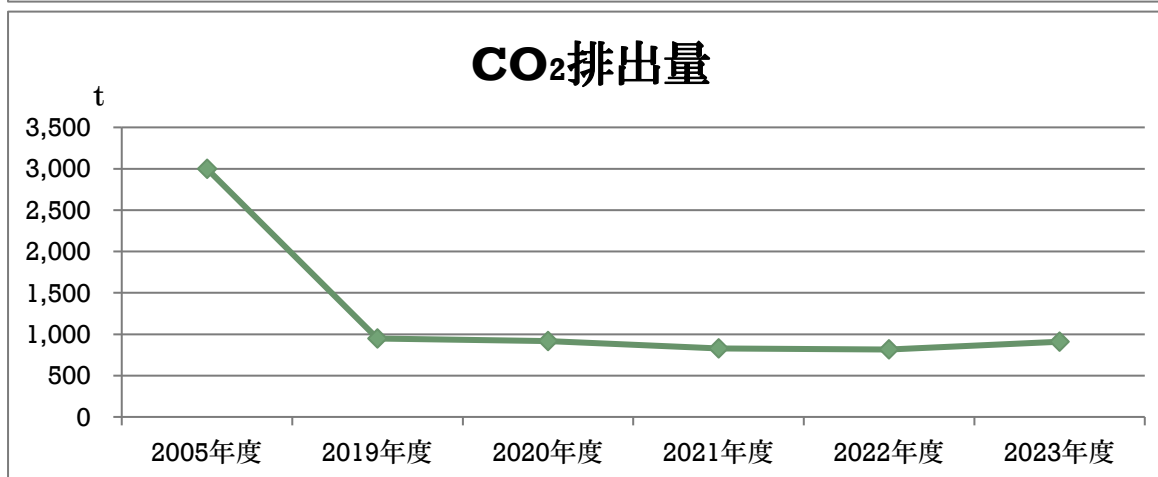
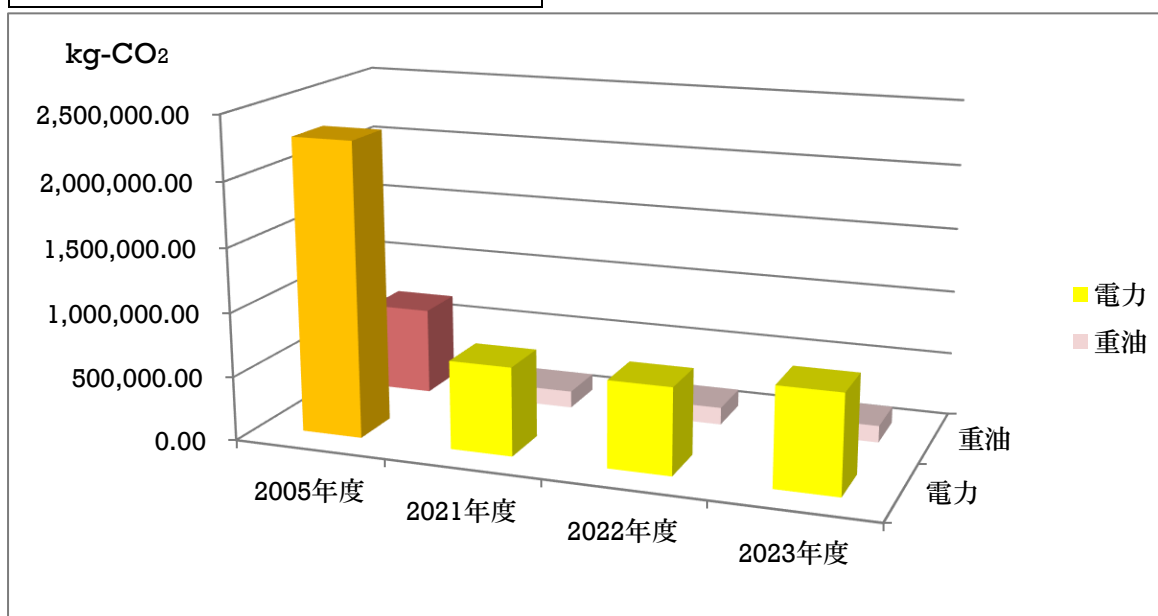


## CO<sub>2</sub>排出量の比較

	平成 17 年度 (2005 年度) 基準年度 (kg-CO <sub>2</sub> )	令和5年度 (2023 年度)		比 較 (対基準年度比(%))
		排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	割合(%)	
購入電力	2,294,709.98	※ 771,026.36	84.88	▲66.40
重油	682,826.76	130,875.13	14.41	▲80.83
ガソリン	2,321.66	1,771.26	0.19	▲23.71
軽油	4,099.22	759.48	0.08	▲81.47
灯油	13,187.29	3,687.81	0.41	▲72.04
LPG	1,431.93	270.78	0.03	▲81.09
エネルギー消費合計	2,998,576.84	908,390.82	100.00	▲69.71

※購入電力において CO<sub>2</sub> 算出に用いた係数は、環境省発表(R5.12.22 公表)令和4年度実績中部電力ミライズ(株)調整後排出係数(メニューB)を適用した。  
(0.459kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

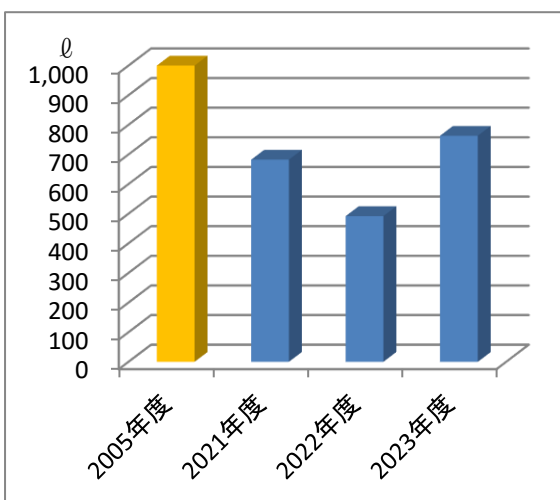
## 電力・重油による二酸化炭素排出量の推移



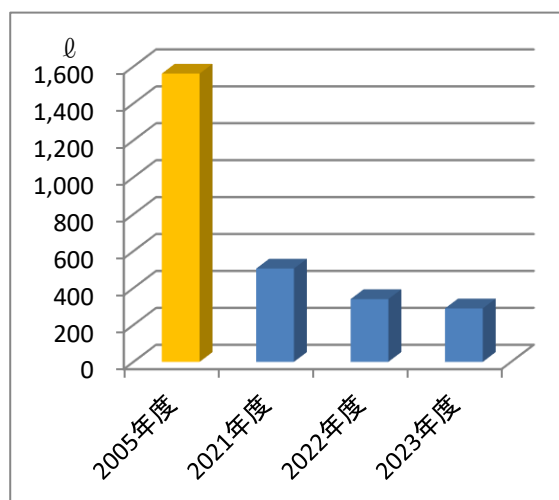
## VI 環境経営活動の取組み計画と結果の評価

取組み計画	達成状況	評価結果	次年度の取組内容
<b>ガソリンによる排出量を2005年度比25%削減</b> ○車両の省エネ運転を推進する 不要なアイドリング中止・急発進・急加速・空ふかしをしない ○運転記録をつける	基準年度実績： 1,000L 前年度 492L 実績： 763L 率：23.7%減 前比：55.1%増	長距離出張があったことと、軽ダンプ車を使用しての肥料搬出を今年度より開始したため、大幅に増加し目標を達成することができなかった。 引き続き省エネ運用と省エネ運転に努める。	<b>ガソリンによる排出量を2005年度比25%削減</b> ○用件をまとめ外出回数を減らす。
<b>軽油による排出量を2005年度比50%削減</b> ○車両の省エネ運転を推進する 不要なアイドリング中止・急発進・急加速・空ふかしをしない ○運転記録をつける	基準年度実績： 1,561.5L 前年度 340L 実績： 289L 率：81.5%減 前比：14.9%減	可燃ごみの搬出先が近隣の焼却場になり、運搬時の走行距離が大幅に減ったため大きく目標を達成することができた。 引き続き省エネ運用と省エネ運転に努める。	<b>軽油による排出量を2005年度比55%削減</b> ○省エネ運転を目指す「ステッカー」等を車体後部に貼付ける。


《評価結果：◎…著しく目標を上回る ○…目標を達成 △…取組み方法を再考 ×…目標に達せず、取組み方法を再考》

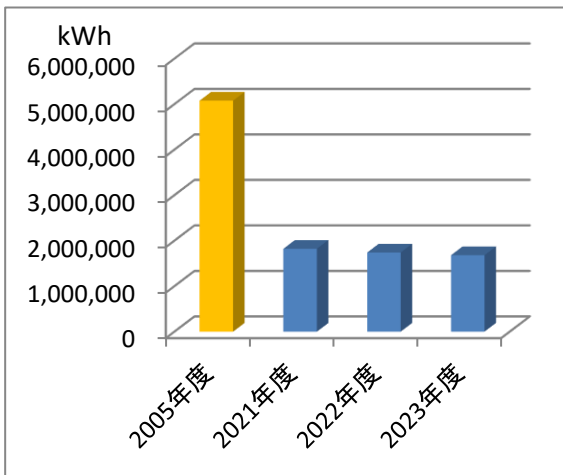


□ガソリン使用量の推移□

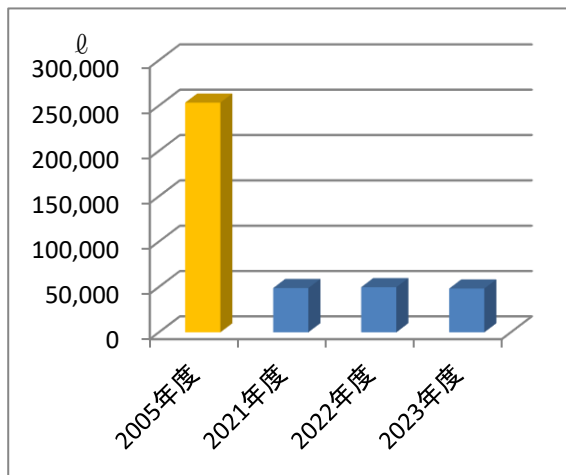


□軽油使用量の推移□

<b>電気による排出量を2005年度比65%削減</b> <b>1日当たりの使用量を6,000kWh以内とする</b> <b>月単位で最大ピーク電力を契約電力以下に抑制する</b> ○空調設備の点検、清掃を毎月1回行う ○適正室温・不要な照明の消灯の巡視を実施 ○工場での節電に努める	空調設備の点検は毎月実施。清掃は6、9、11、3月実施	設備の縮小化や照明器具のLED化と節電により、昨年に続き目標値を達成することができた。 ピーク電力削減についてはデマンド管理を適切に行い、すべての月で契約電力以下に抑制することができた。	<b>電気による排出量を2005年度比65%削減</b> <b>1日当たりの使用量を5,900kWh以内とする</b> <b>月単位で最大ピーク電力を契約電力以下に抑制する</b> ○各設備の運転開始時刻を調整して、ピーク電力の削減を目指す。	
	構内巡視を月1回実施			
	基準年度実績： 5,076,792kWh 実績： 1,679,796kWh 率：66.9%減			



□電力使用量の推移□



□重油使用量の推移□

<b>A重油の使用量を単位処理量当たり2.2Lに抑制しCO2排出量を削減する。</b>	基準年度実績： 253,400L 実績： 48,300L 率：80.9%減 単位処理量当り： 2.33L/kℓ	使用量は前年度より減ったが、受入量の減少により単位処理量当りの使用量は目標を達成することができなかった。	<b>A重油の使用量を単位処理量当たり2.2Lに抑制しCO2排出量を削減する。</b> ○乾燥機炉内温度をこまめに調整する。



<b>職員の廃棄物の分別を再構築し、計測する</b>	ごみについて分別を徹底する。	可燃ごみ減少、紙のリサイクルが増加した。 職員の意識が向上しているため更に徹底する。	<b>職員の廃棄物の分別を再構築し、計測する</b> ○プラゴミ専用のゴミ箱を設置し、分別を徹底する。
<b>コピー用紙の使用量を2005年度(平成17年度)比25%削減する</b> ○紙の置き場所を確保し、明示する ○裏紙の使用を推進する <b>回覧文書の電子掲示化を推進する</b>	基準年度実績： 90,500枚 実績：40,000枚 率：55.8%減	必要最小限の使用を心がけ、裏紙の使用をより推進できた。 また、電子文書の推進を実現するための庁内共有書庫を有効に利用していく。	<b>コピー用紙の使用量を2005年度(平成17年度)比25%削減する</b>
<b>グリーン購入を積極的に行う</b>	継続している実績品目 <b>文房具類：</b> 再生紙製本テープ 両面テープ 修正テープ <b>紙類：</b> トイレットペーパー	「千曲市グリーン購入推進方針」に準拠しながら取組を進めている。 消耗品購入時は必ず在庫を確認し、必要最小限の購入と、グリーン指定品の確認を行っていく。	<b>グリーン購入を積極的に行う</b> ○文具類発注伺書などに対象品目の有無を明記する。
<b>硫酸バンド使用量を2009年度(平成21年度)比50%削減する</b>	2009年度： 321,440kg 実績：71,150kg 率：77.9%減	水処理状況を把握しながら適正な添加に努めた。	<b>硫酸バンド使用量を2009年度(平成21年度)比50%削減する</b>
<b>メタノール使用量を2009年度(平成21年度)比50%削減する</b>	2009年度： 51,510kg 実績：30,680kg 率：40.4%減	水処理状況を把握しながら適正な添加に努めたが、目標を達成できなかった。	<b>メタノール使用量を2009年度(平成21年度)比50%削減する</b>
<b>節水に努める</b>	県営水道使用量 基準年度実績： 1,259 m <sup>3</sup> 実績          ： 889 m <sup>3</sup> 率          ： 29.4%減 用水使用量 基準年度実績： 404,460 m <sup>3</sup> 実績          ： 155,620 m <sup>3</sup> 率          ： 61.5%減	県水の使用量は前年度比4.3%増となった。 引き続き節水に努める。 なお、用水の使用量については、処理量に見合った実績であった。	<b>節水に努める</b>

<p><b>化学物質等の管理を見直し、緊急時の訓練を行う</b></p>	<p>緊急時対策訓練 9月に計画</p>	<p>劇物などに分類される工業薬品について日々の使用量の変動に注視しながら管理を行った。 緊急時対策訓練は重油流出を想定した被害状況調査と流出防止訓練、土嚢制作、初期消火訓練を実施した。</p>	<p><b>化学物質等の管理を見直し、緊急時の訓練を行う</b></p>
<p><b>設備、作業に係る資格取得状況を整理し、計画を立てる</b></p>	<p>職員の資格免許一覧及び計画書の作成</p>	<p>予定通り実施した。引き続き資格取得の整理と計画に取り組む。</p>	<p><b>設備、作業に係る資格取得状況を整理し、計画を立てる</b></p>
<p><b>公害防止等の為の自主点検、定期点検を継続する</b></p>	<p>設備機器の毎日点検等を継続 ばいじん測定年6回実施</p>	<p>機器の劣化箇所も見られるので引き続き念入りな点検に努める。</p>	<p><b>公害防止等の為の自主点検、定期点検を継続する</b></p>
<p><b>環境に配慮した堆肥としてアピールをしていく</b> ○推進チラシの配布</p>	<p>○堆肥化設備の原料の減により生産量が減少しサンプル品ができない状態が続いている。 前年度：105.00t 実績：121.25t 率：15.5%増 (発酵肥料千曲3号)</p>	<p>原料は減少しているが、ストックによって搬出量は増加した。品質は極めて良質な製品であり、引き続き品質の維持に努める。</p>	<p><b>環境に配慮した堆肥としてアピールをしていく</b></p>
<p><b>その他</b> ○構内の清掃を行う ○千曲川堤防美化清掃を実施</p>	<p>隔週水曜日朝の場内清掃を継続実施 4月に計画</p>	<p>引き続き場内外の環境美化に取り組む。 4月21日、千曲川堤防の清掃作業においては、組合職員および衛生センターを使用している社員等併せて18名の参加により短時間に成果を得た。</p>	

《評価結果：◎…著しく目標を上回る ○…目標を達成 △…取り組み方法を再考 ×…目標に達せず、取り組み方法を再考》

## 受け入れたし尿等の処理量

### 年度別原料及び製品量の推移

区	項 目		単	平成17年度 (2005年度)	平成18年度 (2006年度)	平成19年度 (2007年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)
原 料	汚 泥	し尿	kL	92,738.4	84,721.7	75,788.1	65,117.0	56,447.8	48,687.8
		浄化槽汚泥	kL	16,674.6	16,671.8	16,849.1	14,328.7	14,725.3	12,786.8
	剪 定 枝		t	154.8	133.2	109.2	103.2	115.2	171.0
製 品 等	肥 料	千曲1号	t	128	0	0	0	0	0
		千曲3号	t	165.52	574.54	663.03	628.96	578.93	505.17
	場外処分汚泥	千曲1号	t	240.38	306.93	91.23	0	0	0
		千曲3号	t	119.43	-	-	-	-	-
	し 渣		kg	227,570	196,480	171,130	140,620	122,960	110,120

区	項 目		単	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
原 料	汚 泥	し尿	kL	42,524.3	37,521.1	34,107.7	29,792.1	26,413.4	23,523.0
		浄化槽汚泥	kL	11,863.7	11,296.0	10,123.1	9,137.0	9,448.6	8,336.3
	剪 定 枝		t	105.6	156.0	120.0	84.0	57.6	48.0
製 品 等	肥 料	千曲1号	t	0	0	0	0	0	0
		千曲3号	t	439.87	397.16	348.84	290.23	252.86	222.70
	場外処分汚泥	千曲1号	t	0	0	0	0	0	0
		千曲3号	t	-	-	-	-	-	-
	し 渣		kg	98,410	83,120	70,270	66,180	50,260	52,730

区	項 目		単	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)
原 料	汚 泥	し尿	kL	21,711.4	20,000.6	18,606.3	17,171.9	16,046.0	14,594.2
		浄化槽汚泥	kL	8,999.8	7,967.2	8,561.8	8,113.4	7,664.4	7,131.7
	剪 定 枝		t	43.2	52.8	30.1	30.9	10.1	7.2
製 品 等	肥 料	千曲1号	t	0	0	0	0	0	0
		千曲3号	t	227.35	201.94	178.18	149.35	163.46	144.43
	場外処分汚泥	千曲1号	t	0	0	0	0	0	0
		千曲3号	t	-	-	-	-	-	-
	し 渣		kg	48,820	39,720	32,340	30,710	27,540	23,860

区	項 目		単	令和5年度 (2023年度)					
原 料	汚 泥	し尿	kL	13,214.0					
		浄化槽汚泥	kL	7,517.2					
	剪 定 枝		t	4.1					
製 品 等	肥 料	千曲1号	t	0					
		千曲3号	t	121.25					
	場外処分汚泥	千曲1号	t	0					
		千曲3号	t	-					
	し 渣		kg	15,430					



**INPUT**

**OUTPUT**

原材料

し尿	13,214,000L
浄化槽汚泥	7,517,200L
剪定枝チップ	4.1t

エネルギー

電力	1,679,796kWh
燃料 (A重油)	48,300L
灯油	1,480L
LPガス	90kg

用水

上水道	889m <sup>3</sup>
地下水	155,620m <sup>3</sup>

化学物質

硫酸バンド	73,150kg
メタノール	30,680kg
苛性ソーダ	7,030kg
次亜塩素酸ソーダ	31,490kg
水処理用高分子凝集剤	140kg
汚泥処理用高分子凝集剤	1,245kg
硫酸	960kg

物流

輸送エネルギー	
(肥料・し渣の搬出等)	
軽油	763ℓ
ガソリン	289ℓ



大気

CO <sub>2</sub>	908t-CO <sub>2</sub>
SO <sub>x</sub>	72Nm <sup>3</sup>
NO <sub>x</sub>	73Nm <sup>3</sup>

廃棄物

し渣(焼却施設搬入)	15,430kg
------------	----------

排水

河川放流	176,349m <sup>3</sup>
BOD	368.6kg
COD	794.2kg



製品

肥料千曲3号	121,250kg
--------	-----------

## VII 環境関連法規制等の遵守状況

適用される法規制	適用される施設等	主な内容等	違法
1-1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 1-2 廃棄物の適正な処理の確保に関する条例(長野県)	○し尿処理施設 ○事業に伴い発生する一般廃棄物、産業廃棄物	し尿処理施設の管理、事業に伴い発生する廃棄物の適正処理 ○し尿処理施設設置の届出 1990.10.12	○
2 大気汚染防止法	○ばい煙発生施設…乾燥炉	大気の汚染防止 ○ばい煙発生施設の設置届出 2004. 7.23 ○ばい煙量等の測定	○
3-1 水質汚濁防止法 3-2 良好な生活環境の保全に関する条例(長野県)	○特定施設…し尿処理施設 ○指定施設…指定物質(苛性ソーダ、硫酸、次亜塩素酸ソーダ、塩酸、硫酸バンド、水酸化カリウム)を貯蔵、使用する施設 ○貯油施設…重油、灯油の貯蔵タンク	公共用水域、地下水の汚濁防止 ○特定施設設置届 1990.10. 1	○
4 毒物及び劇物取締法	○脱臭設備材料の洗浄剤…塩酸 ○脱臭設備用薬剤…硫酸、苛性ソーダ ○水処理用工業薬品…苛性ソーダ、メタノール ○水質試験検査用試薬 ○場内造園管理用農薬	管理マニュアル、保管状況の確認による適正管理	○
5 肥料の品質の確保等に関する法律	○汚泥再生センター(堆肥化設備) ○普通肥料	肥料の適正管理 肥料登録 2005. 7.25 2023. 7.24 更新	○
6-1 消防法 6-2 千曲坂城消防組合火災予防条例	《危険物等》 ○危険物貯蔵所設置許可(①地下タンク、A 重油 20KL ②地下タンク、メタノール 15m <sup>3</sup> ) ○危険物取扱所設置許可(一般、メタノール希釈設備) ○乾燥設備設置届 ○少量危険物取扱届出(A 重油) ○少量危険物貯蔵届出(屋外タンク、灯油 405L) ○指定可燃物届出…剪定枝葉 ○消防活動阻害物質届出…硫酸	危険物等の適正管理 ○左記の許可申請又は届出	○
7 労働安全衛生法	《化学物質等》	労働災害防止	○
8 フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○エアコンディショナー	フロン類の大気中への排出抑制	○

□環境関連法規制等の遵守状況についてチェックを行い、逸脱がないことを確認いたしました。

関係機関及び近隣住民からの指摘、苦情、訴訟などは期間中ありません。

## VIII 環境保全活動

### 災害対策訓練の実施



緊急事態に備えた保護具着用救助訓練



消火器による初期消火訓練



屋内消火栓による放水訓練



薬品流出を想定した防止訓練

(令和5年9月1日実施)

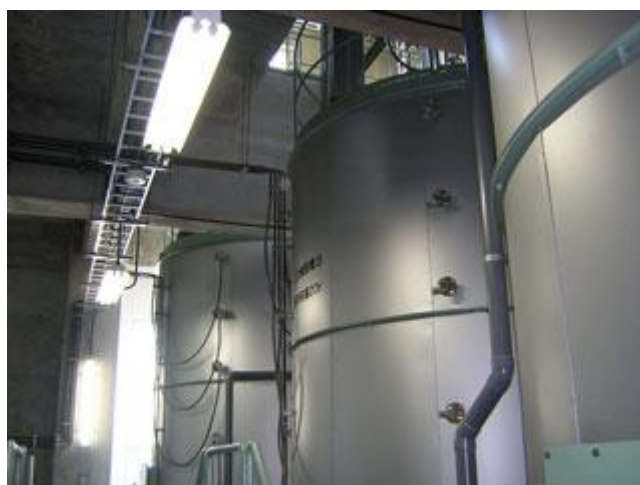




年に6回実施のばいじん濃度測定

### 堆肥化によるリサイクルの推進

○処理工程で発生する汚泥は堆肥化設備で堆肥化され、管内の農地などに発酵肥料「千曲3号」としてリサイクルされています。



堆肥化設備（二次発酵槽）

### 管理市である千曲市役所と環境活動における交流

○千曲市役所環境課職員を交えての内部監査の実施

（令和5年11月6日実施）



## 環境整備と周辺の自然環境の保全

毎年センター搬入路付近の千曲川堤防の清掃作業を実施しています。

この清掃作業では、組合職員はじめ、衛生センターを使用している業者の皆様にもお手伝いをいただくことにより環境美化意識の向上を図っています。



※地域の環境意識向上により年々ゴミの量は減少しています。

**千曲川堤防の清掃作業を実施(令和4年4月26日)**



## IX 代表者による全体の評価と見直し

### [総合評価]

令和5年度(2023年度)は環境マネジメント開始から17年目に入り職員間でも浸透してきている。

二酸化炭素排出量については、前年度比11.5%の大幅増となってしまった。一方、軽油の使用量は14.9%の減となった。

また、千曲市環境課職員を交えての内部審査を実施した中で、汚泥の堆肥化にあたり原料の一つである剪定枝を購入していることについて新たな課題を指摘された。

### [指示]

二酸化炭素排出量増加の要因は80%以上を占める電力による増加が主な原因だが、使用量においては前年度比3.4%減少しており、引き続き節電に努め削減目標を達成する。

内部監査にて指摘された新たな課題について、調査研究を進めていく。また、紙の減量、ごみの分別など原点に立ち返った取り組みを再認識し、職員一人一人の環境意識の向上を図ること。

### [目標・環境経営活動計画]

軽油、電力の使用量抑制目標は、それぞれ達成している。

電力の削減目標については基準年度比65%削減を目指すとともに、一日の使用量制限目標を5,900kWhとする。併せて、引き続き各設備の運転開始時刻を調整しピーク電力の削減を目指す。

年度によって変動があるガソリンの使用量であるが、昨年度より肥料配達を軽ダンプ車でも行うこととなったため基準年度比25%削減に据え置き、軽油について50%から55%削減へ引き上げることとする。

燃料関係においては、A重油使用量について引き続き単位処理量あたり2.2Lに抑制する目標とする。

工業薬品の使用量については、平成21年度(2009年度)比硫酸バンド50%削減、メタノール50%削減を目指す。

令和6年(2024年)4月18日

千曲衛生施設組合長 小川修一